

【行事で育つ】

2学期のもう一つの大きな行事、ダイナミック・フェスティバル (DF) が先週末の10月27日 (金) に実施されました。昨年度までは、人数制限と学年ごとの入れ替え制での保護者観覧でしたが、今年はたくさんの方々にご覧いただくことができました。

1年生の「インタビュー」、「クイズ」はもとより、どの学年もタブレットを上手に使いこなしていたのが印象的でした。かつて劇には大掛かりな背景画を作成したのですが、タブレットとプロジェクターで背景を映し出すのには時代を感じます。一方で、画用紙や廃材を活用して小道具を手作りするところには創意工夫があふれており、アナログとデジタルを効果的に使い分けていることが、この世代の強みであると感じました。

こうした行事は、「特別活動」として各教科と同様に教育課程に位置付けられています。各教科と少し違うのは、「活動を通じて学ぶ」ところです。そして、めざすのは、よりよい自分、よりよい関係、よりよい集団への成長です。そのために、発表当日までの取り組みの過程で、生徒たちが課題解決のために話し合ったり、協力することの難しさと協力できたときの喜びを感じたり、自分が欠かせない存在であると実感する、というような体験をしてほしいと願っていましたが、今回、どの学年の生徒も主体的取り組み、行事のねらいをしっかりと成し遂げてくれたと思っています。

ところで、先日あるテレビ番組で、子育てのパターンを解説しているものがありました。漫才コンビが子どもを叱ったりほめたりする場面を、心理学の専門家が観察して子育ての類型に当てはめて採点するというもので、コンビの一人は「先回りして子どもがすることを解決するタイプ＝過保護型」だと指摘されていました。

学校行事での教員のかかわり方にも通じるものがあると思いつつ (同時に自分の子育てを省みてドキドキしながら) 見ていました。DF の取り組みでは、解決の糸口を生徒が自分たちの力で見つけられるように、「過保護型」にならないよう、やきもきしつつ見守りに徹する場面があります。忍耐力が必要ですが、こういう教員の隠れた努力も生徒の成長には欠かせない要素であったと思っています。

もちろん、ご家庭でのバックアップあってのことです。連日の朝練に送り出すために、ただでさえ忙しい朝がますます忙しくなり、生徒の吐き出すモヤモヤを受け止めてくださっていたことと思います。そのおかげで生徒は全力で打ち込むことができました。どうもありがとうございました。2学期の二つの大きな行事を通じて、生徒がぐんと大きく成長しました!

【地域のみな様へ】

11月18日 (土) PTA 講演会 (13:30~) で交通安全教育としてスケアードストレイト (スタントマンによる交通事故の再現デモンストレーション) を実施いたします。大きな音がある可能性があり、大変ご迷惑をおかけしますがご理解の程、よろしくお願いいたします。



DFの様子



【オープニング】



【1年生】



【2年生】



【3年生】



花植え隊活動日のお知らせ

2学期の活動日は11/9(木)・11/30(木)・12/14(木)です。

10:30~12:30の活動です。下足室前にお集まり下さい。

